

Kanada Town Public Relations

広
報

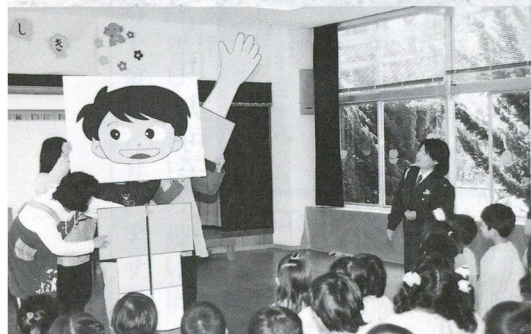
かなだの風

2003
5/15

No.471



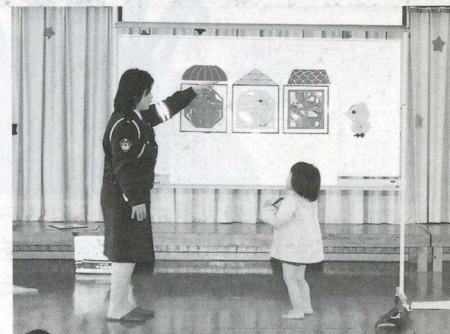
とびだししないぞ！



横断歩道の渡り方

4月15日(火)に上金田保育所で交通安全教室が行われました。

教室でのお話を聞いたあと、園庭に作った横断歩道をとっても上手に渡りました。



教室で信号のお勉強

人権作文入選作

人との違い

高山 良介

今年の夏休み、金田中学校では進路のための、職場体験が行われた。僕は、普段体験できない事が体験でき、とても良い経験になった。

僕が行った職場では、障害のある方も働きに来ていた。職場体験の初日、職場の方から次のような注意があった。

「障害者だからといって特別扱いせずに、普通に接してください。」

僕は、職場体験の間、その注意を守り、障害のある方と普通に接することができた。しかしそれは、ごく当たり前のことだと思う。わざわざ注意する必要も無いと思うが、職場の方はそのことを僕たちに注意した。それは、「障害があるから」というだけで差別する人がまだいることを証明しているのではないか。

また、学校等では、時々「人権学習」が行われる。差別はいけませんとか、そういったことを話すのだが、それもごく当たり前のことだ。人権学習が、全く必要無いとは思わないが、それもまた差別する人の存在を証明していると思う。

ではなぜ人を差別してしまうのだろうか。それは、人との違いを認めることができないからだと思う。しかし、この世界には自分と同じ人間は一人もいない。だから、人との違いを認めることができるようになるべきだと思う。もしそれができれば、きっとこの世界から差別は無くなると思う。

また、今でも世界各地ではテロや戦争といった悲しい事が起きている。自分が正しいと思って、他人の考えを認める事ができない。そして



対立し、殺し合いをしてしまう。それでもまだ、自分が正義だと思っている。それは間違っていると思う。いくら正しくても、人との違いを認めないで殺し合いをするなら、それは悪だと思う。

いじめもそうだ。人との違いを認めることができる人が、気に入らないからといって、人が嫌がることをするだろうか。

僕たち人間にとって、人との違いとはあって当たり前のものだ。それを認めることができずに差別する人は、とても弱い心の持ち主だと思う。差別しない人は、人との違いを認めることができる人だ。そんな人こそ、本当に強い人だと思う。

いじめも戦争も、本当に強い人なら絶対にしないだろう。悲しいけれど、弱い心の持ち主がこの世界にはたくさんいる。その人たちが、早く自分たちが間違っていることに気付いてほしい。その人たちが、早く人との違いを認めることができるようになってほしい。

僕が行った職場の方が、余計な心配をしなくていい世界になってほしい。人権学習の必要が無い世界になってほしい。戦争が無い世界になってほしい。みんなが人との違いを認めることができる世界になってほしい。

差別が無い世界になってほしい。

人権ポスター入選作



桑野和美

この人権ポスターは、みんな手を取り合って、夢や希望や優しさを語り合い、この絵のように仲良く暮らせたらいなという思いで描きました。



吉田実可子

私は、みんなが友だちを大切に、どんどん増やしてほしいなと思ってこの絵を描きました。

お見事、九州一！ ～全九州アームレスリング大会団体戦～

4月13日(日)に第5回全九州アームレスリング大会団体戦(29チーム参加、トーナメント方式)が熊本県益城市総合体育館で行われました。

この大会で田川ストリートアーム(山本光明さん、辰島宜昭さん、和田宗則さん)が日頃の練習の成果を発揮し、全日本クラスなどトップレベルの強豪を倒して勝ち上がり、みごと優勝しました。

なお、3人は10月5日(日)に東京で行われる予定の全日本大会に向けてさらに練習にはげんでいます。



ズバリ、アームレスリングの魅力とは？

山本さん「場所を問わずどこでも出来る気軽さと、0コンマ1秒で勝負が決まるスリルです。」

練習はどこでしていますか？

山本さん「毎週火・金曜日20:00～22:00に平原集会所で練習をしています。腕におぼえのある方、興味のある方は初心者の方でも気軽にどんどん参加してください。大歓迎です。指導者は全日本トップレベルからそろっています。」



”田川の地から全日本チャンピオンを出そう”を合言葉にがんばっています。



全日本第4位の切通学さん

中央公民館短歌教室詠草

丸山の風になぶられ夜櫻のロマンスにほう春の宵
 やれやれと吾子にせがまれ絵をかいた細子いだきし若き日の思い出
 金田町上金田 井戸アサ子

音低く窓を過ぎゆく風聞きて美濃の旅籠に安く眠りぬ
 縁起ものと友手づくりのふくろうは優しい眼で我を見守る
 阿部 重宏

蕪椿咲くや番の目白来て声と光を交しつつとぶ
 彼岸の目一輪開きてわれに見す病院坂の裏道の桜
 加治 智子

酌みかはす猪口の二つは源右衛門姉とたしなむ雛の祭りに
 おやすみを目で言ひながら包みたる雛人形を箱にしまひぬ
 白石 信子

国道のトンネル通らず山ひとつ廻りて桜の満開に遇ふ
 川土手に菜の花一面咲き盛る黄に染まるまで埋もれて寝たし
 三村 和子

紅梅と白梅そろひてさながらに笑むかの如く咲くをみて行つ
 竹細工つくれば遊びの心湧き竹笛吹きつつ竹馬にのる
 岡野 富司生

四月には博多座に連れて行くからと食の進まぬ吾に娘は言ふ
 初詣で多賀神社にてくじ引けばクリーナ当り掃除も楽し
 香月ミサヲ

何処よりこのやすらぎの来るらむ寒弱まりし夜半のひととき
 冬日さす芦屋の浜は眠ること凪ぎるて鳶の高きに舞へり
 平野キミ子

塾にゆくぞ夢につながる道のりのでこぼこ道も恐るることなく
 青山 裕洋

宮里ももか

稲富 光子

久保 のぶ

白石 鶴代

福田 昌

たのしい教室 学童クラブ

今年度、金田小学校学童クラブの入所式には、37人の児童が集まり、3月30日に行われました。このクラブは、放課後家に帰って、ひとりぼっちに近い状態になる児童を対象として、小学校低学年(1年生から3年生)の健全育成を図るため、小学校の空き教室を利用し、設置されています。児童のお父さん、お母さんたちによって運営され、みんなで楽しいクラブを作りだしています。

このクラブへの入所を希望される方は、福祉課(22-6664)へお尋ねください。



元気いっぱいこいのぼり



ひまわり組さん(5才児)

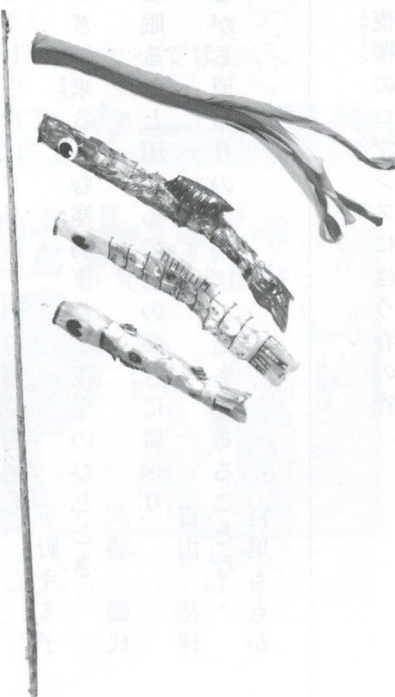


すみれ組さん(4才児)



ゆり組さん(3才児)

4月24日、神崎保育所の園児たちが、約1週間かけてつくったこいのぼりがついに完成しました。これは、大きなビニールに園児ひとりひとりが自由な絵を描いたり、手形を切り抜いて貼ったりしてつくられたものです。ひまわり組さんのかっこいいお父さんこいのぼり、すみれ組さんのかわいいお母さんこいのぼり、ゆり組さんの楽しいこどもこいのぼり、どれも元気いっぱい空を泳いでいました。



雨にも負けず、子ども山笠

4月19日(土)・20日(日)上金田と町部に子ども山笠が建ちました。この山笠は、地域みんなが子ども達のために建てたものです。両日ともあいにくの雨もようでしたが、雨にも負けずに町内をまわりました。



上金田の子ども山笠



町部の子ども山笠

稚児と獅子の舞

南木管原神社神幸祭が5月2日・3日に行われました。南木老人クラブのおじいちゃんおばあちゃんによる、手作りのわらじを履いた子ども達は、これからはじまる農繁期にむけて豊作のために舞いました。伝統を守り、受け継いでいるこの神幸祭は、筑前の国・庄内綱分から日王山を越えて伝わったということです。



お旅所での舞



神社からお旅所へ

こんにちは！金田町母子寡婦会です。

5月の行事をご案内いたします。

メイクアップ教室
「お金をかけずにきれいになる方法教えます」
講師：白石ミサヲ

日時 5月30日(金)・31日(土) 19:00~21:00
初日 フェイスエステ 2日目 メイクアップ

場所 金田町総合会館

持参品 タオル2枚、カチューシャ、卓上鏡

費用 会員 500円(化粧品代)、賛助会員 1,000円

※今後、いろいろな活動を予定しております。



5月5日のボランティア活動の様子



みなさん、暑い中お疲れ様でした

お申込み、またあらゆるご相談は
金田町母子寡婦福祉会
会長 白石 ミサヲ

☎0947-22-5510
090-9485-2119
ai-27mari@qtnet.ne.jp